【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2015-71559(P2015-71559A)
【公開日】平成27年4月16日(2015.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2015-025
【出願番号】特願2013-207485(P2013-207485)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/12　(2015.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0775　(2010.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/42　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/12
Ｃ１２Ｎ　5/00　２０２Ｈ
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　29/00　１０１
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　37/06
Ａ６１Ｋ　47/42
Ａ６１Ｐ　43/00　１０５
Ａ６１Ｋ　9/10
Ａ６１Ｋ　9/06

【手続補正書】
【提出日】平成28年9月30日(2016.9.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
脂肪組織由来間葉系幹細胞を有効成分として含有するＩＬ－１７産生抑制組成物であって、脂肪組織由来間葉系幹細胞の少なくとも５０％が、ＣＤ１０、ＣＤ１３、ＣＤ２９、ＣＤ４４及びＣＤ９０に対して陽性であるが、ＣＤ３４、ＣＤ４５及びＳＴＲＯ－１に対して陰性であること、及びＩＬ－１７産生抑制組成物が、川崎病の予防または治療のために使用されることを特徴とするＩＬ－１７産生抑制組成物。
【請求項２】
脂肪組織由来間葉系幹細胞の少なくとも７０％が、ＣＤ１０、ＣＤ１３、ＣＤ２９、Ｃ

Ｄ４４及びＣＤ９０に対して陽性であるが、ＣＤ３４、ＣＤ４５及びＳＴＲＯ－１に対して陰性であることを特徴とする請求項１に記載のＩＬ－１７産生抑制組成物。
【請求項３】
注射用であることを特徴とする請求項１又は２に記載のＩＬ－１７産生抑制組成物。
【請求項４】
脂肪組織由来間葉系幹細胞がマトリゲルに包含されていることを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載のＩＬ－１７産生抑制組成物。
【請求項５】
マトリゲルがフィブリンゲルであることを特徴とする請求項４に記載のＩＬ－１７産生抑制組成物。